



さむかわ

議会だより

第 212 号

令和6年11月1日
発行

のぞいてみよう 寒川町議会親子探検ツアー



9 月会議

CONTENTS

- 特集 寒川町議会親子探検ツアー P 2
- 決算特別委員会 P 4
- 議案審査 P 9
- 一般質問 P12
- 議会TOPICS P17

さむかわまち ぎ かい
ようこそ！寒川町議会へ！

8月8日 木

「のぞいてみよう 寒川町議会親子探検ツアー」レポート

1 インタロダクション

あまり ぎちょう かいかい
天利議長の開会あいさつの後、よしだ ふく ぎちょう ぎ かい
吉田副議長が議会のしくみなどについて説明しました。
あと わ さん か し ゃ ぎ いん じ こ しょう かい
その後グループに分かれ、参加者と議員で自己紹介をしてから、ツアーに出発です！



2 たんけん 探検ツアー

たんけん ば しょ ぜん ぶ しょ きょう み しん しん
探検場所は全部で5カ所。みんな興味深々！



ぎ ちょう 議場

ぎ ちょう せ き
議長席で、
はい、チーズ♪



ぎ いん ひ か え し つ
議員控室



せい ふ く ぎ ちょう し つ
正副議長室



だい 第1・第2 季 員 会 室



と しょ し つ
図書室

さむかわまち ぎ かい はじ こころ おお みな さん か
寒川町議会として初めての試みでしたが、多くの皆さまにご参加いただき、
ぶ じ かい さい とうじつ よう す ほうこく
無事開催することができました。当日の様子をご報告します。

また、寒川町公式動画ライブラリーでも動画どうがを配信はいしんしていますので、二次元
コードからぜひご覧ください！



3

ぎ かい 議会クイズ

たんけん まな ないよう おこな
探検ツアーで学んだ内容についての、クイズを行いました。

ぎあん さん び しゅうけい さいけつ つか かいとう おお も あ
議案などの賛否を集計する採決システムのボタンを使った回答は、みんな大盛り上がりでした。



ぎいん うわぎ ちゃくよう
議員は上着を着用し、
ほんかい ぎ ふん い き しゅつだい
本会議さながらの雰囲気が出題です。



4

しつもん 質問タイム

ツアーを通じて疑問に

おも 思ったことなど、質問

ぼ しゅう すんど
を募集しました。鋭い

しつもん たい ぎいん
質問に対して、議員

あつ き も
も熱い気持ちで

こた
答えました。



5

しゅうりょうしょう じゅよ 修了証 授与

たんけんたい か てい しゅうりょう たいいん
探検隊の課程を修了した隊員の

みんなへ、あまり ぎ ちよう しゅうりょうしょう
天利議長から修了証の
じゅよ
授与です。



6

へいかい き わんさつえい 閉会(記念撮影)



ひょうじよう
みんな、いい表情！
さん か
ご参加いただき、ありがとうございました！

決算審査意見（審査意見書より抜粋）



決算特別委員会
茂内 久代 委員長
(大志会)

■健全財政が保たれた、適正なもの

令和5年度の予算は、「寒川町総合計画2040第一次実施計画」に掲げる事業をより一層効果的に推進させると同時に、引き続き新型コロナウイルス感染症対策や社会情勢の変化に的確に対応するため、様々な事業が計画された予算でありました。

そのような中、下水道事業特別会計を除く寒川町一般会計及び、3特別会計の決算総額は、歳入で325億9,223万1,305円、歳出では303億8,908万4,107円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は、21億6,140万2,780円の黒字決算となりました。

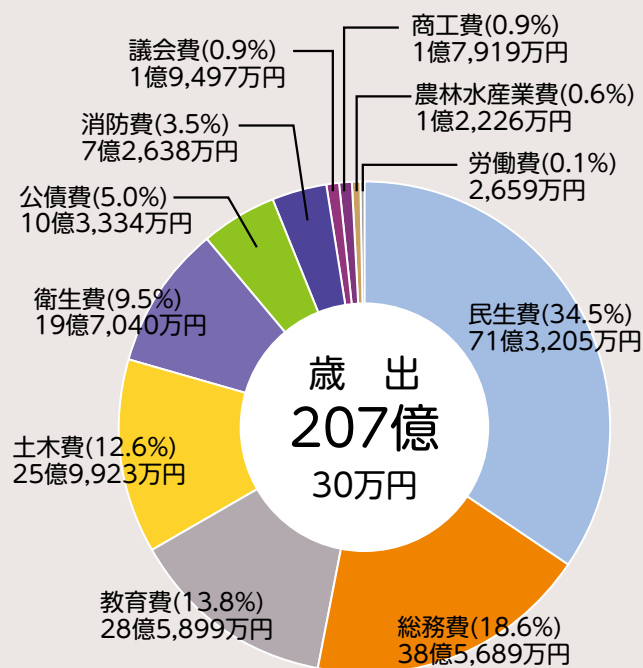
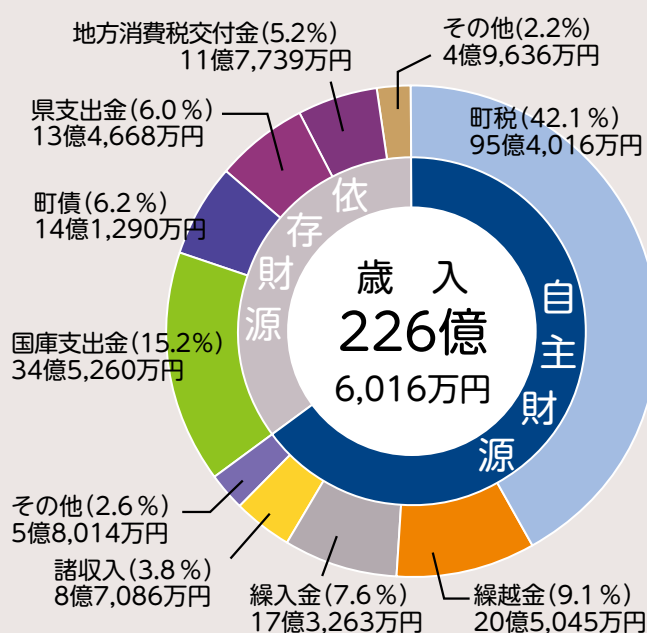
その中でも一般会計の決算額は、歳入で226億6,016万4,416円、歳出で207億29万9,802円となり、前年度に比べ歳入では17億1,783万4,965円、8.2%の増、歳出は18億841万5,664円、9.6%の増となっています。

決算特別委員会

令和5年度決算を徹底審査



一般会計 決算概要



※金額と構成比(%)は、表示単位未満を四捨五入しています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、町の活気がゆるやかに戻ってきた年でしたが、そのような状況の中で執行された本決算は、総体的に見て健全財政が保たれており、適正なものと判断します。

■今後も、効率的かつ効果的な行財政運営を期待

町では今後も、義務的経費の増加や公共施設の再編、東海道新幹線新駅の誘致といった大規模事業を控えていますが、選択と集中の観点で、さらに工夫・改善に努め、町民の皆様からの負託に応えるべく、持続可能な魅力あるまちづくりを進めることで「住んでいてよかった」と言われるよう、効率的かつ効果的な行財政運営が進められることを期待します。

なお、審査の過程において、各委員からの指摘や意見等については十分勘案し、今後の予算編成、執行にあたられるよう要望し、審査意見とします。



▲本会議の映像



▲審査意見書全文



決算特別委員会が設置・開催され、5日間にわたる決算審査の結果、令和5年度一般会計および各特別会計歳入歳出決算を認定しました。

特別会計 決算概要

特別会計は、税金を中心とした収入により行政サービスを行う一般会計とは異なり、国民健康保険のようにそれぞれの保険料などで運営しています。下水道事業については、公営企業会計を採用しています。

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	49億6,555万円	49億94万円	6,461万円
後期高齢者医療事業	12億983万円	11億8,035万円	2,947万円
介護保険事業	37億5,669万円	36億749万円	1億4,920万円

区分		収入額	支出額	差引額
下水道事業	収益的	13億1,167万円	12億9,112万円	2,055万円
	資本的	2億8,402万円	7億4,471万円	▲4億6,069万円

※資本的収支の不足分は、留保資金などで補っています。



柳田 遊 委員
(フォーラム寒川)

東海道新幹線新駅整備基金の 根拠ある予算編成を

❶ 新幹線新駅誘致および周辺整備に係る財源を試算する根拠について、土地利用計画は未完成で、駅設置費用は四半世紀以上前に示されたものと不透明である。一日でも早く財源の根拠を示す必要があると思うが、次年度の予算編成について見解は。

❷ J R 東海とは継続的に要望や技術的な相談を行うことができている状況からも、新駅設置の可能性は高まってきていると捉えています。将来駅設置の表明がなされれば、より精度の高い費用が算出されると想定していますが、まずは財政負担の偏重を避け、健全財政を維持するためにも、可能な範囲で積み立てを行っていくことが重要であると考えています。



正確な当初予算計上を

❶ 厳しい財政状況の中、正確な当初予算計上が求められる。次年度予算編成、そして今後の財政運営に向けて、町の見解は。

❷ 歳入については引き続き堅調な町税収入が期待できるものの、歳出については未来に向けたまちづくりの推進をはじめ、扶助費の増加等、今後も増加傾向が続くと予想しています。限られた予算を有効活用し、持続可能な魅力あるまちづくりを進められるよう、これまで以上の創意工夫を念頭に、引き続き効率的で効果的な行財政運営に努めます。



東海道新幹線新駅整備基金を 町民の福祉向上に使用すべき

❶ 物価高騰の中、町民の暮らしは大変苦しくなっている。東海道新幹線新駅整備基金について、町民の福祉の向上に使うべきと考えるが、町の見解は。

❷ 東海道新幹線新駅設置事業に係る莫大な事業費の平準化や住民負担の公平性を確保するため、条例を制定して積み立てを行っています。この条例において、条例設置目的以外に使用することはできないこととされているため、今後も条例の趣旨に基づき積み立てを行っていきます。



給食センター化による コスト変化は

❶ 令和5年9月から稼働した学校給食センターの維持管理経費について、自校式と比較して増大していると思われる。自校式と給食センターにおける1食あたりのコストは。

❷ 自校式では1食あたり358円、給食センターでは1食あたり409円です。しかしこれまでは中学校の完全給食を実施しておらず、自校式における光熱水費等は校舎の維持管理に係る経費と一体となっておりコストに算入されていません。また給食センターの稼働は令和5年9月からで、本決算では通年の経費となっていないなど、時点や条件が異なるため単純に比較することは難しいと考えています。



山田 政博 委員
(日本共産党)



関口 光男 委員
(公明党)

職員の体制づくり 町の取り組みは

Q 業務量の増加や職員数の減少により、職員一人一人に対する負担が大きくなっている。新採用職員の確保をはじめ、しっかりとした体制づくりが必要と考えるが、町の見解は。

A 公務を取り巻く環境が大変厳しい状況下で、さまざまな工夫をしながら、人材確保と中途退職の抑制に向けて取り組みを進めています。今後も、職員一人一人にしっかりと向き合いながら適正な配置を行い、健全で持続可能なまちの実現に努めます。



町観光協会の体制強化により 観光事業の新たな展開を

Q 町観光協会は現在、正規職員が2名体制とのことである。新たな観光事業の展開、効果的な事業進展のため、町観光協会の体制づくりが必要であると考えているが、町の見解は。

A 町観光協会の業務内容や人員体制については、直接話を聞き、状況を把握しています。現状の業務の棚卸しがしっかりと行われているのか、人員を増やすことで何が改善するのかなど、精査が必要であると思いますので、新年度予算の要求段階で検討していきます。



町観光協会マスコットキャラクター
映夢くん、花笑ちゃん

町民の力を借りて 緑地の維持管理を

Q 公園緑地等の維持管理について、委託業者や職員、公園愛護会による対応だけでは追いついていない状況がある。意欲ある町民の手を借りることは考えられないか。

A 除草等が行き届かない状況にある中、安全面への配慮は必要となりますが、器具の貸し出しや剪定・除草を行っていただくことについては、検討の余地があると考えます。公園愛護会として活動している方だけではなく、多くの町民の方がもっと気軽に公園等に関わっていただける方法を検討していきます。



多様な学びの場を 提供するための体制は

Q 多様な学びの場を提供し、子どもたちに前を向いてもらうことが大人の願いであると思うが、町の見解は。

A 個別の教育的ニーズのある児童・生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できるよう、多様な学びの場を整備することが重要と考えています。

これまでも支援体制の充実を図ってきましたが、今後も町の子どものため、さらなる支援体制の強化に努めます。



吉田 悟朗 副委員長
(さむかわ自民党)

令和5年度決算を **討論**

二次元コードから本会議の映像をご覧ください。



賛成 フォーラム寒川

将来の財政課題に備えた健全な財政運営と評価

歳入は、国庫支出金および県支出金の積極的な獲得を図り必要な財源を確保し、歴代最高の町税額の更新を維持するなど、町の堅実な税収の確保と財政基盤の安定さを改めて評価することができます。

歳出は、投資的経費が例年と比較して大きく変化があり、将来の財源獲得のための積極的な予算執行でありました。一方で公共施設再編基金に積み立てるなど、将来の財政課題に備えた健全な財政運営のための予算の執行を見ることが出来ます。また、最小の経費で最大の効果を得た予算の執行や住民福祉の向上に寄与した成果があり、評価をすることができます。

令和7年度予算 最小の経費で最大の効果を期待

令和5年度決算は、計画性、弾力性、積極性の3つの視点から財政運営の適否を総合的に判断し、令和7年度の予算編成においての財政健全化に向け、町の行財政運営が住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を上げるように予算が編成されることを期待し、一般会計歳入歳出決算および他の4特別会計決算に賛成します。

反対 日本共産党

より一層の町民の福祉向上や暮らしの負担軽減を

一般会計歳入歳出決算では、実質収支は黒字となり、財政調整基金の残高は標準財政規模の2割程度確保することでした。物価高騰の大変な時にもっと町民の福祉の向上、暮らしの負担軽減に使えたのではないのでしょうか。

会計年度任用職員については、本来、正規職員を採用し、住民サービス向上に努めることが必要だと考えます。

平和推進事業は、他の自治体を参考に、未来を担う子どもたちのために、活発に行うべきです。

みどりの保全・普及啓発事業については、木陰を増やすなど、町全体で対策を考えるべきだと思います。

東海道新幹線新駅整備基金は、町民の福祉の向上に使うべきです。

学校給食センター維持管理経費は、自校式と単純比較はできませんが、コスト増となっているため、今後、長期的な目で見たいと思います。

以上のことから、一般会計歳入歳出決算について反対とします。

なお、他の4特別会計決算についても町民の負担が大きいことや、国や県の負担を増やすべきとの理由などから反対とします。

▼決算特別委員会 委員別賛否結果

委員名	会計区分				
	一般会計	特別会計			
		国保	後期高齢	介護保険	下水道
委員長 茂内久代 (大志会)	—	—	—	—	—
副委員長 吉田悟朗 (さむかわ自民党)	○	○	○	○	○
委員 山田政博 (日本共産党)	●	●	●	●	●
委員 柳田遊 (フォーラム寒川)	○	○	○	○	○
委員 関口光男 (公明党)	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対 (茂内委員長は、表決に加わりません。)

● 9月会議 ●

寒川町のこんなことが決まりました。

9月会議 会議期間 8月27日から9月26日

9月会議の議案は

町長提出議案・・・・・・・・ 19件

委員会提出議案・・・・・・・・ 1件

今号ではこの中から
3つを

Pick up

※議案の会議録については、11月下旬にホームページに公開します。

Pick up

〈議案第41号〉

1

寒川学校給食センターにアドバイザーを配置します

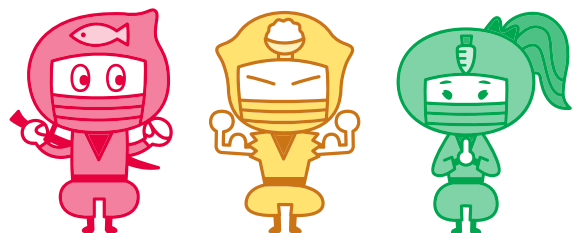
寒川学校給食センターの衛生管理に関して、より高い水準の管理状況の維持に向け、専門的な知識を有する人材を常勤に近い形で配置するためのアドバイザー業務委託に伴い、予算を追加するものです。

こんな質問がありました

Q 業務委託の内容と、その効果は。

A 恒常的な業務に対する衛生管理指導や、管理運営に対する指導・助言を想定しています。

組織体制や課題発生時の対応力の強化を図るとともに、業務の標準化や事例等の積み上げを行うことで、事業の継続性と従事職員の専門性の向上につなげたいと考えています。



町学校給食オリジナルキャラクター
あかべえ ききまる りよく
赤兵衛、黄々丸、お緑

Pick up

〈議案第41号〉

2

ヤングケアラー実態調査を実施します

「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」とされるヤングケアラーについて、実態調査等に係る予算を追加するものです。

こんな質問がありました

Q 実態調査の目的と、その後の支援についての考えは。

A 町立小・中学校においてヤングケアラーの状況にある児童・生徒がどの程度存在するのかという全体像を把握すること、必要となる支援を検討し事業化すること、児童・生徒に対するヤングケアラーについての意識啓発と相談先があるということの周知を目的としています。

今後支援のためにどういった事業が必要か、調査結果を踏まえ検討していきます。



こども家庭庁HPより

(https://kodomoshien.cfa.go.jp/young-carer/public/)

Pick up

〈議案第46号、47号〉

3

教育委員会委員等が決まりました

教育委員会委員の任期満了により、次の委員について同意しました。また人権擁護委員の任期満了により、次の委員について適任としました。

委員が決まりました

●教育委員会委員

ぬの たに
布 谷 あけみ 氏

再任、任期4年(令和6年10月1日から令和10年9月30日まで)

●人権擁護委員

おお つき じゅん こ
大 槻 順 子 氏

再任、任期3年(令和7年1月1日から令和9年12月31日まで)

令和6年第1回定例会 9月会議 審議結果

議案番号		議案	会派名	さむかわ自民党				大志会				フォーラム寒川		日本共産党		公明党				
			議決結果	横手旭	岸本優	吉田悟朗	天利薫	新村賢志	山上秀樹	佐藤一夫	茂内久代	柳田遊	柳下雅子	青木博	山田政博	太田真奈美	黒沢善行	関口光男	小泉秀輔	橋本修一
9月	41	令和6年度寒川町一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	42	令和6年度寒川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43	令和6年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	44	令和6年度寒川町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	45	令和6年度寒川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	46	教育委員会委員の任命	同意	賛成：16票 反対：0票																
	47	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適任	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48	寒川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	49	寒川町国民健康保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50	寒川町都市公園条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	51	令和5年度寒川町一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	52	令和5年度寒川町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	53	令和5年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	54	令和5年度寒川町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	55	令和5年度寒川町下水道事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	56	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57	財産の取得(追認)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58	財産の取得(追認)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	59	財産の取得(追認)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	委員会提出第1号	寒川町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対 (天利議長は、表決に加わりません。小泉議員、橋本議員は会派に属さない議員です。)

本会議・委員会の記録

本会議・委員会の記録を次の二次元コードからご覧いただけます。

本会議の記録



各委員会の記録



議案・陳情等の資料



可決された意見書・決議



不登校の現状と 今後の対応について問う

Q 全国の不登校児童・生徒数が過去最多の中、町での課題や対応は。

A 町においても、年々不登校の児童・生徒が増加傾向にあります。今後も学校と連携しながら、継続的に不登校児童・生徒への支援を行っていきます。

Q 校務や児童・生徒指導等を支援するための、支援員等配置による成果は。

A 支援員等の配置により、教員の業務負担の軽減と、より効果的な教育活動につながっています。

Q 相談指導教室の体制課題は。

A 不登校児童・生徒は増加傾向にあり、現在の人員配置では十分とは言えない状況と考えています。

Q 国が校内フリースクールの整備を加速する中、町としての設置の考えは。



橋本 修一 議員



A 校内教育支援センター、いわゆる校内フリースクールの存在は意義深いものと考えています。不登校を含む全ての児童・生徒が安心して教育を受けられるような魅力ある学校づくりを推進するため、今後も研究を重ねていきます。

認知症基本法について問う

Q 認知症バリアフリーの取り組みは。

A 認知症サポーターの養成や、チームオレンジの活動の充実を図り、認知症に対する理解を深めています。

Q 政府の認知症施策推進基本計画を基に、町の基本計画の策定の考えは。

A 県の計画策定状況を踏まえ、町の介護保険事業計画との整合性を図りながら、策定について検討していきます。

町民に伝わる広報を目指し 今後の取り組みについて問う

Q 防災行政用無線の設置位置改善や増設の予定は。

A 随時必要に応じて音量の調整、スピーカーの向きを変えるなど改善をしています。今後も、難聴地域解消のため調査研究を進め、子局を増設するなどの対応も考えていきます。

Q 町公式LINEで防災行政用無線の内容を配信すべきでは。

A 情報伝達ツールの特性や、情報を受信される方々の意見も踏まえ、防災行政用無線、メール配信、LINEのプッシュ通知などの情報伝達ツールの自動連携や在り方について検討していきます。



小泉 秀輔 議員



A 原爆被爆者の方に自らの体験を語っていただく平和語り部講演会を町主催で開催する予定です。来年度以降も継続的に開催し、次世代に戦争の記憶が継承され、平和の大切さや尊さが語り継がれるよう努めます。

Q 平和教育について、これから教育委員会はどのように取り組むのか。

A 戦争の語り部の方々から直接話を聞く機会等が少なくなっている今、戦争を体験していない人たちがどう伝えるかが課題になっています。平和学習において平和が大事、戦争はいけないと学ぶだけで終わらせず、具体的な行動に結びつけられる学習になっているかが大切だと考えます。また、国際社会の平和と繁栄を築いていくためには、互いの異なる文化を理解し、認め合って生きる取り組みが重要であるため、人権教育にも力を入れていきたいと考えます。

歴史を継承するために 平和行政・教育の取り組みは

Q 語り部による講演会等を積極的に行うべきでは。

高齢化が進む中、 更に安心して過ごせる体制づくりを



茂内 久代 議員



Q 高齢者人口、単身世帯の状況は。

A 令和6年7月1日時点の町の65歳以上の高齢者人口は、1万3,583人です。65歳以上の単身世帯は、3,550人です。

Q 高齢者の孤独死や孤立死を解消するための支援策や、地域のコミュニティ強化のための町の取り組みは。

A 町は、これまで緊急通報システム、配食サービス、ごみの訪問収集など高齢者の状況に応じた多様な方法で見守り、声かけをしています。一方で、そうしたサービスや情報を得にくい方もいます。町は、独居等高齢者訪問事業を地域包括支援センターに委託して実施するなど、日常的に相談できる環境づくりも進めています。

Q 高齢者の終活について、町の取り組みは。

A わたしのノート～大切な人への連絡帳～の記入を勧めており、書き方講座も併せて実施し、各種イベン

トや高齢介護課の窓口でノートを配布しています。

また、町の無料法律相談や、ご自身が今後の判断能力に不安を感じている方には、成年後見人制度の相談先を紹介しています。

Q 高齢者の住居の確保等について、国の動向を注視しながら他業種や事業者と連携するべきと考えるが。

A 県居住支援協議会が発行している情報紙の中に、高齢者の方々などの住まいの悩みを支援する協力不動産店の登録があり、町内の不動産店も登録されていますが、引き続き他業種との連携を強化して取り組んでいきたいと考えます。



人材育成と人材確保で 行政業務の持続性を図れ



佐藤 一夫 議員



Q 人材確保に対する課題認識は、どのように捉えているか。

A 新規採用については、人口減少社会の影響などから近隣自治体や民間企業との競争になっており、特に技術職など専門職の確保に力を入れる必要があると考えています。また業務の効率化を図り、職員一人一人の時間を創出していくことも喫緊の課題と認識しています。

Q 行政業務において、いかに効率よく事務作業が出来ているかの把握や手法を獲得する必要性を感じる。人材育成プランのなかで、業務効率化を目的とした研修はあるか。

A 業務の効率化に特化した取り組みは、現在行っていません。しかし従前からの取り組みとして、職員の事務改善提案制度を行っており、事務事業の改善に関する職員の建設的意見の提案を奨励しています。また

主体性をテーマにした職員研修により、業務効率化を担う職員自身の意識にアプローチしながら、その主体性を高め、業務改善をさらに推進していくことを目指しています。

Q 人材確保が難しい時代、デジタル社会の進展等により大きく変化している。課題が多い行政運営であるが、今後の行政運営の持続性をどう確保していくか。

A 人材の確保とDX化の推進は同時に進めていく必要があると考えています。単に業務の効率化のみでは、町民の満足度を満たすこともなかなか難しいと考えているため、十分検討して進めていきます。



自治会活動の負担を軽減し 加入促進・退会者抑止へ

Q 町として自治会には、どのような課題があると認識しているか。

A 自治会加入率の減少の原因として、高齢化による役員の担い手不足や個人主義による関係性の希薄化などを感じています。また、仕事をしている方にとっては、会議への参加や回覧・募金の対応に負担があると話を聞いています。

Q 課題となっている役員の担い手不足、加入者の減少について町として解消方法の考えは。

A 災害時における共助の部分など、自治会に加入しているメリットが加入されていない方へ伝わるよう、デジタル化など多様な形を取り入れながら周知することも一つと考えています。また、新規加入者への取り組みとして、自治会加入につながるためのインセンティブの付与も一つの手法と考えています。

Q 誰一人取り残すことのないデジタル化社会の理念



岸本 優 議員



をベースに置いた上でのデジタル回覧板の導入検討は。

A デジタル化を検討されている自治会もあります。一方で、デジタル化を身近なものと捉えにくく、検討するものの先に進めない自治会もあると聞いています。

しかし今後ますますデジタル化は進んでいくと思われますので、デジタル化を活用して負担軽減を図れるよう、自治会とともに調査研究していきます。

Q 町長の選挙公約にある自治会加入促進条例、自治会活動促進インセンティブの進捗状況は。

A 自治会加入促進への対応について、自治会のニーズを把握しながら、進めるにあたっての検討を行っているところです。



自治会による消火訓練の様子

将来の財政課題を解決するための 健全な財政運営を問う

Q 社会福祉関係や公共施設再編に係る費用の捻出、地方交付税制度やふるさと納税制度の影響等、町の将来財政は厳しくなることが予想される。普通交付税不交付団体としての財政運営、財源根拠に基づいた正確な政策判断、将来世代負担額の明確化、目標財政指標の設定、そして毎年度見直された中長期的財政推計の策定と公表を規定に定めた財政条例の制定や施策の実施が健全な財政運営に求められる。次世代にツケを残さない町の財政運営を問う。

A 近年は税等の上振れもあり、町の予算規模も歴代の上位を記録するなど堅調に推移していますが、今後予想される少子高齢化等の進行による扶助費など義務的経費の増加や、学校、役場庁舎など公共施設の老朽化、インフラの維持管理等への対応など、今後も健全な行財政運営を維持していくためには、厳しい判断もせざるを得ないものと考えています。



柳田 遊 議員



現在町では、来年度からスタートする町総合計画2040第2次実施計画において計画的運営を図るため、その下支えとなる中長期にわたる財政推計の見直しを行っています。

緩やかな回復基調が続く国内経済ではあるものの、急激に変化する国際情勢や景気動向など、先行きが見通しにくい状況にあって、最新の人口動態や国、県の動きを捉えつつ、現段階で予定している諸施策をつぶさに勘案し、計画的に事業が遂行できる財政運営を図ることにより、健全財政の維持に努めます。

将来負担すべき実質的な債務（令和5年度）

地方債残高 72.6 億円	債務負担行為 24.1 億	その他 32.5 億 （国庫補助金、国庫支出金、地方債等）
将来世代負担 129.2 億円		

一般質問で使用了議員作成資料より

全国に広がっている 加齢性難聴対策を問う



青木 博 議員



Q 加齢性難聴の予防・早期発見のため、聴力検査が必要と考えるが。

A 認知症や介護予防の観点から、早期発見につながる聴力検査の実施は必要と考えます。

Q 実施自治体の推移、町民の要望、専門家の見解から、町でも補聴器購入助成を実施すべきと思うが。

A 自治体だけの課題ではなく、国の負担による加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的補助制度が創設されることが望ましいとの考えから、県市長会・町村会からも国に要望を行っています。引き続き国や県、他自治体の動向を注視していきます。



男女共同参画プランに対する 町の考えを問う

Q 関連する法律「女性支援新法」の把握は。

A 女性が日常生活や社会生活を送る上で、福祉の増

進を図るために制定された法律と把握しています。

Q 新法に基づく包括的支援を次期プランにどのような反映するのか。

A 女性支援新法に、多様な支援を包括的に提供する体制を整備することとあるため、さまざまな支援が包括的にできるよう定めていく予定です。

Q 次期プランにジェンダー平等の視点をどのように反映するのか。

A SDGsの5番目の目標「ジェンダー平等を実現しよう」には、ジェンダーの平等と女性のエンパワーメントが掲げられています。このことから、全ての人がお互いの人権を尊重し、自分らしく生きていくためにそれぞれの持つ多様性への理解を深めることを目指すため、ジェンダー平等の意識を醸成するために基本目標の一つとして掲げる予定です。

これからのまちづくりに 資する文書館事業とは



柳下 雅子 議員



Q 寒川文書館の5つの基本理念(①寒川の記録資料を後世に伝える②すべての人びとが利用できる③郷土愛と未来の創造に役立つ④行政の説明責任を果たす⑤みんなが足を運びたくなる)に基づく現状と課題、これからの文書館事業の在り方について問う。

A 文書館資料管理検索システムやウェブでの情報発信など利便性向上に努めていますが、地域社会の変容により地域の記録資料が失われる懸念があることや、電子化された公文書への対応などの課題があります。今後も、文書館がどのような施設で、どのような資料を保存し利用に供しているのかを、もっと多くの方に知ってもらい、利用したいと思っていただけるようなきっかけづくりを継続していきます。また、利用される方の知的探求心に応えるため、さまざまなレファレンスに対して専門性の高い職員によるきめ細やかな対応を実施していきたいと考えます。

Q 収集した行政資料等の公開のため、目録の整備は早急に取り組むべき課題と思うが。

A 目録の整備と併せ、非公開情報の利用制限に関する規定などの対応が必要となるため、他自治体の事例など情報を収集しながら、検討を進めます。

Q これからのまちづくりに資する文書館事業とは。

A 行政だけではなく地域住民の生活の変化や、大きくかわる産業構造などの資料となる各町内企業の社史など、さまざまな歴史的な資料もあります。それらを整え、役所の業務だけではなく、民間の動き、町内企業の動きなども理解できるよう、それらが後世に残せるような形を整えていきたいと思っています。



寒川文書館 企画展の様子

子ども・子育て支援法等の改正に 対する見解を問う



黒沢 善行 議員



Q 本年6月、子ども・子育て支援法等の一部が改正された。この改正により今後町が行うべき施策は何か。

A ヤングケアラーへの支援と、こども誰でも通園制度は実施に向け、幾つかの課題を認識しています。

Q 「ヤングケアラー支援」と「こども誰でも通園制度」を実施するための課題解決に向けた取り組みは。

A ヤングケアラーや若者ケアラーについては、把握の方法や支援の在り方が年代ごとに異なると見込まれ、一度に全ての年代に対応するための体制整備等を行うことは困難と考えます。

まずは児童・生徒について支援できるように取り組み、次にこども家庭センターの対象である18歳未満の者について支援できるようにして、県の



こども家庭庁 Xより
(<https://x.com/KodomoKaitei/status/1684503952518438913>)

若者ケアラーに対する動きなども踏まえながら、若者ケアラーへの支援について検討を進めていく必要があると考えます。こども誰でも通園制度において町として取り組むべきことは、一時預かり事業を実施する保育施設を増やすことで受け入れ枠を拡充し、保育士を確保することで受け入れ体制を整えることと考えます。

子宮頸がん検診のHPV検査 導入について問う

Q 厚生労働省は、今年度より子宮頸がん検診にHPV検査の導入を認めた。その判断は市町村が行うとなっているが、町の見解は。

A 子宮頸がん検診の受診の勧奨を継続的に推進し、がん罹患した場合でも早期発見、早期治療につなげていくことができるよう、子宮頸がん検診の体制の在り方を検討していきたいと思います。

高齢者を対象とした 耳の健康チェック導入を



関口 光男 議員



Q ヒアリングフレイルという新しい概念について、町民に周知する必要があると考えるが、町の見解は。

A ヒアリングフレイルとは耳の虚弱を意味し、聴覚機能の低下によるコミュニケーションの問題や生活の質の低下などを含む、身体の衰えの一つです。ご本人やご家族が正しい知識を得ることは、認知症予防、介護予防の観点からも必要性があると認識しています。

Q 高齢者を対象に、アプリを活用して耳の健康チェックを行うヒアリングフレイルチェックを導入することについて、町の見解は。

A ヒアリングフレイルチェックにより、加齢性難聴に対する意識啓発や早期発見、適切な治療を受けることは、認知症予防、介護予防につなが



っていく期待が持てると認識しています。アプリを活用した検査の導入については、先進的に実施している自治体等への調査を行い、認知症予防・介護予防の事業展開を図っていきます。

大規模災害に備える取り組みは

Q 防災備蓄品等についてはしっかりと予算を確保し、これまで以上に対策を講じていくべきである。町民一人一人の生命財産、身体を守り抜くため、どのように取り組みを実行していくのか。

A 備蓄品や保管場所など、計画的な対応および調査研究をしなければならないと考えています。平時から防災意識の向上・啓発を図り、さまざまな課題について一つ一つ解消しながら町の災害に対する安全を高めていきます。

寒川文書館を現地踏査しました

総務常任委員会では7月19日(金)、歴史的、文化的価値を有する町の公文書等を収集・保存・利用に供するため設置されている、寒川文書館を現地踏査しました。



寒川町福祉団体協議会と意見交換会を行いました

文教福祉常任委員会では7月23日(火)、町福祉団体協議会と意見交換会を行いました。



行政視察の受け入れ

町議会では、当町の各事業について、他議会からの視察受け入れを行っています。令和6年9月末時点で5団体の議会が当町を視察されました。

自治体名	視察日	内 容
山口県防府市議会	5月15日	・ 移住・定住促進への取り組みについて
兵庫県川西市議会	5月16日	・ 給食センターでの食育について
大分県日出町議会	7月11日	・ 議会運営について ・ 議員報酬の見直しや定数削減の検討について ・ 議員間討議について
埼玉県ときがわ町議会	8月1日	・ 議会のDXの取り組みとして、ペーパーレス化に伴うタブレット端末導入による議会運営の効率化について
宮城県南三陸町議会	8月6日	・ 議会だよりの作成について

常任委員会 行政視察報告

文教福祉常任委員会および建設経済常任委員会では7月1日(月)～7月3日(水)、先進的な施策や取り組みを行っている自治体を行政視察しました。その内容を、ご報告します。

文教福祉常任委員会

- 奈良県生駒市：健康寿命・介護予防の取り組みについて
- 愛知県岡崎市：校内フリースクールについて

●奈良県生駒市

人生100年時代と言われる中、生駒市では健康寿命日本一を目指して先進的な介護予防の取り組みを行っています。文教福祉常任委員会における健康寿命についての議員間討議をさらに深めるため、視察しました。

▼3カ月でフレイル状態から脱却することを目的とした「パワーアップPLUS教室」、歩数の増加で健康寿命の延伸につなげる「生駒健康ウォーキングマップ24」など、特徴的な取り組みに感銘を受けました。



生駒市HPより



●市内6病院の院長を委員、市長を座長とする「医療介護連携ネットワーク協議会」の設置により医療と介護の連携強化を図るなど、介護予防に対する市長の熱い思いを感じました。

●愛知県岡崎市

全国的に不登校児童・生徒は増加傾向にあります。そのような中、岡崎市では市が市立の全中学校および一部の小学校にフリースクールを設置するという珍しい取り組みを行っています。町の今後も見据え、その先進事例を視察しました。

●「適応するのは子どもではなく学校である」などの5つの理念のもと、児童・生徒の長所を伸ばせる環境づくりを行っている点は、町にも活かせる新しい視点でした。



曲面のある机の設置 個室空間の確保



岡崎市視察資料より

●町でもさまざまな取り組みを行っているものの、岡崎市の先進的な取り組みやサポート体制を目の当たりにし、児童・生徒の自己肯定感を育む教育が行えているか、今一度見つめ直したいと感じました。

建設経済常任委員会

- 兵庫県養父市：『やぶくる』の取り組みについて
- 兵庫県加古川市：加古川市かわまちづくりにぎわい交流拠点の整備と運営事業について

●兵庫県^{やぶ}養父市

建設経済常任委員会ではライドシェア等について議員間討議を進めていることから、養父市の自家用有償観光旅客等運送事業「やぶくる」の先進的な取り組みを視察しました。

- 関係団体と対話を重ねて試行錯誤し、事業を成功させることで、人口の減少と高齢化の進行という養父市の地域課題を解決するんだという、担当の方の熱意が伝わってきました。



やぶくる公式HPより

- ▲「やぶくる」として走行する車両に目印として貼り付けるステッカーです。既存の地域公共交通とうまく調和させることで、相乗効果を生んでいる点は、大変参考になりました。

●兵庫県加古川市

「身近な自然を活かした魅力づくり」が掲げられ、加古川を中心とした「かわまちづくり」が進められています。

町にも相模川・目久尻川・小出川の3本の川が流れており、今後の参考にできると考え、視察しました。

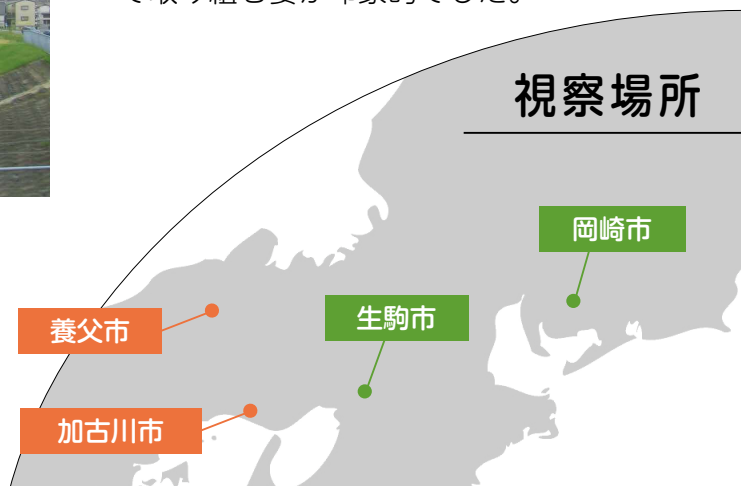
- ▼実際に事業が行われている加古川の河川敷です。相模川の河川敷に似た雰囲気もあり、町においても十分実現の可能性があると感じました。



- 加古川河川敷で行われている各種イベントは、基本的に民間団体が実施主体となっています。市は国と協力して盛土やトイレ、シャワー等の整備を行うなど、官民が連携・一体となって取り組む姿が印象的でした。



- ◀加古川駅に設置されていた看板です。市のイベントとして定着してきている様子が見て取れました。





議会だよりに広告を載せませんか

さむかわ議会だよりでは有料広告を掲載しています。寒川町議会定例会における議会活動の内容等を掲載している公的な情報誌です。年4回(2月、5月、8月、11月)発行しており、各号、町内全ての世帯に配布しています。

広告募集の概要

掲載場所	裏表紙
広告の規格	縦115mm×横85mm
掲載料	1号あたりの掲載料 40,000円
	年間(4号)一括申込による掲載料 144,000円 (1号あたり36,000円)
申込期間	掲載を希望する号が発行される月の3カ月前の1日～3カ月前の20日まで

※広告の原稿は、広告主の負担で作成してください。

※広告の内容に関する責任は、広告主になります。

12月会議日程

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
			本会議 (議案上程等)		本会議 (議案質疑等)	
12/1	2	3	4	5	6	7
	総務常任 委員会	文教福祉 常任委員会	建設経済 常任委員会		東海道新幹線 新駅対策 特別委員会 寒川北インター チェンジ周辺対策 特別委員会	
8	9	10	11	12	13	14
		本会議 (一般質問)				
15	16	17	18	19	20	21
	本会議 (委員長報告等)					

午前9時開会(会議の日程等は変更になる場合があります)

※12月6日(金)寒川北インターチェンジ周辺対策特別委員
会は午後1時15分開会

※12月16日(月)本会議は午前10時開会

ぎ かい 議会ラボ #3

#2のおさらいクイズ!

さむかわまち よ ちよう
寒川町をより良くするため、町
みん だいひよう はたら ひと まち
民の代表として働いている人を町
ぎ かい ぎ いん じようれい まち
議会議員といいます。条例(町の
き けい さい かい
決まりごと)で決められた町議会
ぎ いん にんすう なんにん
議員の人数は何人でしょう?
①16人 ②17人 ③18人

ヒントは
ぎ かい
議会ラボ#2にあるよ!



ぎ かい 議会ってなあに?

ぎ いん 議員になるためには?

まち ぎ かい ぎ いん せん
町議会議員になるための選
きよ りっこう ほ まち
挙に立候補できるのは、町に
す 住んでいる、まん さい い じよう ひと
満25歳以上の人
です。

